

### 第三款 鹽專賣法ノ公布

(專賣法ノ公布)

帝國議會ヲ通過シタル鹽專賣法ハ明治三十七年十二月三十一日裁可セラレ翌明治三十八年一月一日ヲ以テ公布セラレタリ

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル鹽專賣法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十七年十二月三十一日

内閣總理大臣 伯耆桂 太郎

農商務大臣 男爵清浦奎吾

大藏大臣 男爵曾禰荒助

法律第十一號

鹽專賣法

第一條 政府ハ鹽ノ專賣權ヲ有ス

第二條 政府ハ便宜ノ地ニ鹽取扱所ヲ設置シ鹽ノ收納及賣渡ヲ取扱ハシム

第三條 鹽ハ政府又ハ政府ノ命ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ外國ヨリ輸入シ又ハ本法ヲ施行

セサル地ヨリ移入スルコトヲ得ス

第四條 鹽ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ製造スルコトヲ得ス

第五條 政府ヨリ賣渡シタル鹽ニ非サレハ所有シ所持シ讓渡シ質入シ又ハ消費スルコトヲ得

ス但シ納付期日前若ハ正當ノ事由ニ因リ納付ヲ遅延シタル場合ニ於テ又ハ製造者ノ自家用

ノ爲所有所持スルハ此ノ限ニ在ラス

第六條 政府ハ製鹽地ノ區域又ハ鹽ノ製造期間若ハ生産高ヲ制限スルコトヲ得

前項ニ依ル制限ハ鹽ノ試製ニ之ヲ適用セス

第七條 鹽製造者ノ製造シタル鹽ハ政府之ヲ收納ス但シ命令ノ定ムル制限數量以内ノ鹽ニシ

テ鹽製造者ノ自家用ニ供スルモノ又ハ政府ヨリ賣渡シタル鹽ニ依リ再製シタル鹽ハ此ノ限

ニ在ラス

第八條 鹽ノ賠償價格ハ政府之ヲ定メ豫メ公示スヘシ

第九條 鹽ヲ製造セムトスル者ハ製鹽ノ方法採鹹地名地番製鹽段別製鹽場貯藏場及一年ノ生

産見込高ヲ定メ政府ニ申請シ許可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第十條 鹽ノ製造業ト鹽ノ賣買業トハ同一ノ場所ニ於テ相兼ヌルコトヲ得ス但シ政府ノ賣渡

シタル鹽ニ依リ再製スルハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 相續ニ因リ鹽ノ製造ヲ承繼シタルトキハ其ノ旨政府ニ届出ツヘシ

相續ニ因ルノ外鹽ノ製造ヲ承繼セムトスルトキハ政府ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條 鹽製造者鹽ノ製造ヲ廢止セムトスルトキハ少クトモ一箇月前ニ政府ニ申告スヘシ

但シ政府ノ許可ヲ受ケテ製造ヲ廢止スルハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 鹽製造者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ政府ハ製造

ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十四條 鹽製造者鹽ヲ製造シタルトキハ總テ之ヲ政府ニ納付スヘシ但シ第七條但書ニ該當

スルモノハ此ノ限ニ在ラス

政府ハ鹽製造者ヲシテ前項ニ依リ納付スヘキ鹽ヲ其ノ指定シタル者ニ引渡スヘキコトヲ命

スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府カ鹽ノ數量ヲ定メ引渡ヲ命シタルトキ製造者之ヲ政府ニ納付シタルモノト看做ス

第十五條 鹽製造者鹽ヲ納付シタルトキハ政府ハ鑑定人ヲシテ其ノ品質ヲ鑑定セシメ相當ノ賠償金ヲ交付スヘシ

製造者前項ノ鑑定ニ不服ナルトキハ再鑑定ヲ求ムルコトヲ得但シ賠償金ノ請求ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

再鑑定ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 鹽製造者ノ納付セムトスル鹽ニシテ其ノ品質甚シク粗惡ナルモノニ付テハ政府ハ

更ニ相當ノ處理ヲ爲シタル上納付スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第十七條 政府ハ鹽ノ製造又ハ包裝ノ方法、納付場所、納付期日及其ノ運搬通路ヲ定ムルコトヲ得

第十八條 政府ハ定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スヘシ

前項ノ定價ハ賠償金ヲ交付シテ收納シタル鹽ニ付テハ賣渡當時ノ品質ニ相當スル賠償金ニ一石ニ付金二圓五十錢又ハ百斤ニ付金一圓四十八錢ノ割合ノ金額ヲ加算シタルモノヲ超エ

テ之ヲ定ムルコトヲ得ス

第十九條 左ニ掲クル鹽ニ付テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ定價ヲ以テ之ヲ賣渡スコトヲ得

一 外國ニ輸出スルモノ

二 命令ヲ以テ指定スル用途ニ使用スルモノ

前條ニ依リテ賣渡シタル鹽ニシテ命令ノ定ムル用途ニ使用セラレタルトキハ命令ノ定ムル

所ニ依リ交付金ヲ下付ス

第二十條 政府ハ命令ヲ以テ定メタル數量以上ニ非サレハ鹽ノ賣渡ヲ爲サス

第二十一條 鹽賣買業者ハ鹽ニ他物ヲ混和シテ販賣スルコトヲ得ス

第二十二條 鹽製造者及鹽賣買業者ハ帳簿ヲ調製シ政府ノ指示ニ從ヒ營業ニ關スル要件ヲ記

載スヘシ

第二十三條 當該官吏ハ採鹹地、製鹽場、貯藏場其ノ他鹽ノ所在ト認ムル場所ニ立入り鹹水、鹽器

具器械、建築物又ハ帳簿書類ヲ検査スルコトヲ得

當該官吏監督上必要ト認ムルトキハ前項ノ物件ニ封印ヲ施スコトヲ得

第二十四條 當該官吏ハ運搬中ニ在ル鹽ヲ検査シ其ノ出所及到著先ヲ質問スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ當該官吏監督上必要ト認メタルトキハ其ノ運搬ヲ停止シ又ハ荷物若ハ船

車ニ封印ヲ施スコトヲ得

第二十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル

鹽ハ之ヲ沒收ス既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ第十八條ノ賣渡定價ニ相當スル金額ヲ追

徴ス

一 第三條、第四條又ハ第五條ニ違反シタル者

二 許可ヲ受ケサル土地ニ於テ鹽ヲ製造シタル者

三 情ヲ知リテ政府ヨリ賣渡ササル鹽ヲ讓受ケタル者

第二十六條 鹽製造者正當ノ事由ナクシテ政府ノ指定シタル者ニ引渡ヲ爲ササルトキハ五圓

以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス政府ノ指定シタル運搬通路ニ依ラスシテ鹽ヲ運搬シタルトキ

亦同シ

第二十七條 鹽製造者政府ノ定メタル製造期間外ニ於テ鹽ヲ製造シ又ハ政府ノ許可シタル場

所以外ニ於テ鹽ヲ製造シ若ハ貯藏シタルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ  
係ル鹽ハ之ヲ沒收ス情ヲ知リテ其ノ場所ヲ供與シタル者亦同シ

第二十八條 前條ニ該當スル場合ヲ除クノ外鹽製造者許可ヲ受ケスシテ第九條ニ依リ許可ヲ

受ケタル事項ヲ變更シタルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 第十條ニ違反シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條 第十一條又ハ第十二條ニ違反シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條 鹽賣買業者第二十一條ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ  
處ス其ノ犯罪ニ係ル物件ハ之ヲ沒收ス

第三十二條 鹽製造者又ハ鹽賣買業者其ノ營業ニ關スル帳簿ヲ調製セス又ハ其ノ記載ヲ怠リ  
若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條 當該官吏ノ尋問ニ對シ虛偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ之ヲ忌  
避シ若ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモ

ノハ刑法ニ依ル

第三十四條 政府ヨリ賣渡ササル鹽ニシテ犯人以外ノ所有ニ係ルモノハ政府之ヲ收納ス此ノ  
場合ニ於テハ他物ヲ混和シタル鹽ヲ除クノ外第十五條ニ準シ賠償金ヲ交付ス

第三十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタル者ニハ刑法ノ減輕再犯加  
重及數罪俱發ノ例ヲ用井ス

第三十六條 鹽製造者鹽賣買業者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ  
發スル命令ノ規定ニ依リ營業者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業

ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條 鹽製造者又ハ鹽賣買業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人、其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出サルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

第三十八條 間接國稅犯則者處分法及明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

間接國稅犯則者處分法中收稅官吏及稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十九條 鹽製造者其ノ製造ノ許可ヲ取消サレ又ハ鹽製造者若ハ鹽賣買業者其ノ業務ヲ廢止スルモ製鹽場、貯藏場又ハ販賣場ニ鹽ノ現在スル間ハ仍本法ノ規定ヲ適用ス

第四十條 本法ニ依リ收納シタル鹽ノ賠償金ノ仕拂ニ關シテハ主任ノ官吏ニ現金前渡ヲ爲スコトヲ得

#### 附 則

第四十一條 本法ハ明治三十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第四十四條第四項及第四十五條ハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條 本法ハ勅令ヲ以テ指定シタル地方ニ之ヲ施行セス

第四十三條 本法施行ノ際鹽消費者ノ所有ニ係ル鹽ニ關シテハ第五條ヲ適用セス

第四十四條 本法施行ノ際製造者ノ所有又ハ所持スル鹽ハ政府ニ納付スヘシ此ノ場合ニ於テハ第十五條ニ準シ賠償金ヲ交付ス

本法施行ノ際販賣ノ目的ヲ以テ所有シ又ハ所持スル鹽ニ付テハ百斤ニ付金一圓三十錢ノ割

合ニ依リ鹽稅ヲ納ムヘシ

前項ノ鹽ヲ所有シ又ハ所持スル者ハ其ノ數量及所在ヲ政府ニ申告スヘシ申告ヲ怠リ又ハ不正ノ申告ヲ爲シタルトキハ其ノ數量ニ對スル稅金ノ三倍ニ相當スル罰金ニ處ス

鹽稅ノ徵收ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二項ニ依ル納稅濟ノ鹽ハ政府ノ賣渡シタル鹽ト看做ス

納稅期日前ニ於ケル鹽ノ所有又ハ所持ニ關シテハ第五條ヲ適用セス

第四十五條 本法發布前ヨリ鹽ヲ製造スル者ハ本法發布ノ日ヨリ三箇月以内ニ命令ノ定ムル所ニ依リ許可ヲ受ケヘシ

前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第九條ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第四十六條 本法施行ノ際鹽ヲ製造スル者ハ本法施行ノ日ヨリ一箇月以内ニ本法ニ依リ許可ヲ受ケヘシ其ノ期間内ハ鹽ノ製造ヲ爲スコトヲ得

斯クシテ鹽專賣法ハ明治三十八年六月一日ヨリ施行スルコトトナレルモ同法第四十一條ニ於テ鹽稅徵收ニ關スル規定及本法發布前ヨリ鹽ヲ製造セル者ノ製鹽許可ニ關シテハ其ノ期日以前ニ於テ施行ヲ要スル爲之ヲ除外シ別ニ施行期日ヲ定メサリシヲ以テ法例ニ依リ滿二十日ヲ經過シタル一月二十一日ヨリ施行スルコトトナレリ

#### (豫算ノ公布)

明治三十八年度ニ於ケル臨時軍事費ハ七億圓ヲ要シ之ニ各省臨時事件費八千萬圓ヲ加算スルトキハ實ニ七億八千萬圓ノ多額ヲ計フルニ至レリ其ノ財源トシテハ一般歲計ニ出來得ル限りノ節約及繰延ヲ行ヒ其ノ剩餘ヲ以テ之ニ充テ尙地租其ノ他諸稅ニ對シ増徴ヲ行ヒ新ニ相續稅ヲ起シ且鹽專賣ヲ實施スルノ外一時借入ヲ爲シ國庫債券ヲ發行シ公債ヲ募集シ特別會計ノ資金ヲ繰替

使用スルコトトシテ一般會計剩餘四千六百八十萬圓、公債國庫債券及一時借入金五億六千六百萬圓、特別會計資金繰替八百萬圓、軍資獻納金及雜收入二百萬圓及増稅專賣等ノ收入一億五千九百二十萬圓ヲ以テ之ニ充ツルノ計畫ヲ立テタルモノニシテ其ノ増稅專賣等ノ收入ハ第一次増稅ニ依ルモノ七千六百五十餘萬圓、第二次増稅ニ依ルモノ八千二百七十餘萬圓ニシテ第二次増稅中ニハ即チ鹽專賣執行ニ依ル總收入千六百二十三萬九千六百六十七圓ヲ計入セルモノトス

計畫ニ依レハ後章詳説スルカ如ク鹽專賣ニ依ル純收入ハ一千二百十七萬七千五百五十五圓ニ上ルヘキモ明治三十八年度ニ於テハ同年六月ヨリ施行スヘキヲ以テ同年度ニ於ケル純收入ハ八百四十七萬八千八百七十八圓トナレリ然ルニ鹽專賣ニ依ル歲計ハ當初特別會計ト爲スヘキ豫案ナリシモ他ノ増稅ト共ニ戰時ニ際シ臨時軍事費ノ財源ニ充ツルモノナルヲ以テ臨時事件ニ關スル會計ハ之ヲ總括スルヲ便宜ナリトシ一般會計ト爲シタルヲ以テ歲入トシテハ其ノ總收入額ヲ計上シ明治三十七年十二月三十一日ヲ以テ明治三十八年度歲入歲出總豫算追加トシテ歲入經常部第三款官業及官有財産收入中ニ左ノ如ク第十三項ヲ追加シ公布セラレタリ

第三款 官業及官有財産收入 金千六百二十三萬九千六百六十七圓

第十三項 鹽 專 賣 收 入 金千六百二十三萬九千六百六十七圓

右收入ニ對スル支出ハ臨時事件豫備費中ニ見込ミ總テ臨時事件費トシテ支出スルコトトシ八百二十二萬九千七百圓ヲ見積タリ

(輸入稅ノ増徴)

非常特別稅ニヨリ各種増稅ニ伴ヒ其ノ均衡ヲ計リ輸入物品ニ對シテモ輸入稅ノ増徴ヲ爲シ鹽ニ在リテモ從價稅率五分ヲ一割五分ニ改メ百斤當從量稅率ハ明治三十六年ニ於ケル輸入平均價格ニ據リ粗製ノモノ十一錢五厘精製ノモノ一圓六十三錢二厘ヲ増徴スルコトニ改正シタリ



法律第一號 (明治三十七年十二月三十一日)

非常特別稅法抄錄

第二條 左ニ掲クル租稅ニ付テハ關稅法規ノ定メタル稅額ノ外左ノ割合ノ稅額ヲ增徴ス(抄錄)  
十三 輸入稅(抄錄)

關稅定率法附屬輸入稅表第二類ニ掲クル物品但シ生卵ヲ除ク 從價一割五分

附 則(抄錄)

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ(註)輸入稅ニ關シテハ本法發布後六箇月ヲ經テ之ヲ施行ス  
勅令第二號 (明治三十七年十二月三十一日)

非常特別稅法第二條ニ依リ輸入稅ヲ增徴スヘキ物品及同法第三條ニ依リ輸入稅ヲ課スヘキ物品ニ付關稅定率法第三條ニ依リ從量稅目左ノ通定ム(抄錄)

食鹽(海鹽ト礦鹽トヲ別タス)

甲 粗製ノモノ 每百斤 〇、一一五

乙 精製ノモノ 同 一、六三二

附 則

本令ハ發布後六箇月ヲ經テ之ヲ施行ス

明治三十七年勅令第九十號ハ之ヲ廢止ス

右ニ依リ鹽ノ輸入稅ハ左ノ如ク改正セラレ明治三十八年七月一日ヨリ施行スルコトトナリタル  
モ鹽專賣法ノ發布アリテ同年六月一日ヨリ施行セラルルコトトナリ其ノ結果鹽ノ輸入ハ無稅ト  
ナリシ爲メ前記第二次非常特別稅法ニ依ル改定稅率ハ全ク適用ヲ見ルニ至ラサルコトトナレリ

粗製鹽 每百斤 十九錢七厘

第二章 專賣法ノ制定

## 第三節 法施行ニ關スル諸規則ノ制定

## 第一款 法施行ニ關スル調査並準備

## 第一項 鹽ノ生産高、輸出入高及消費高

施行ニ關スル諸般ノ調査及準備スヘキ事項ハ頗ル多端ニシテ而カモ創始ノ業ニ屬シ且急ヲ要スルヲ以テ之カ遺算無カラムコトヲ期スルニハ多大ノ苦心ニ俟タサルモノナシ爰ニ第一節ニ記述セル準備要目ニ依リ調査シタル事項ノ要領ヲ掲クヘシ

## (鹽ノ生産)

内地ニ於ケル製鹽地ハ三十五府縣約六百町村ニ涉リ其ノ製鹽場數ハ明治三十六年ニ於テ一萬三千六百五十八箇所ニ及ヒ製鹽段別ハ七千五百五十三町歩ヲ算フ其ノ主產地ハ古來十州鹽田ト汎稱セル播磨備前備中備後安藝周防長門阿波讚岐伊豫ノ十箇國ニシテ其ノ地方ニ於ケル産額ハ全國ニ於ケル總産出額ノ約八割五分ヲ占ム餘ノ一割五分ハ九州沿岸ヨリ伊勢灣東京灣及能登半島等ヲ主トシ殆ト全國ニ互レリ今産額多キ地方ヲ舉クレハ大鹽赤穂三田尻阪出撫養附近ヲ最トシ味野宇多津澗元附近之ニ次キ山田日比松永吉和瀨戶田竹原平生秋穂下松詫間伯方及能登ノ飯田三河ノ吉田等ノ地方ハ十萬石以上ノ產地ニシテ寄島福川小松志佐高松德島多喜濱波止濱及下總ノ行徳豐前ノ小波瀨豐後ノ杵築等ハ五萬石以上ヲ産シ其ノ他伊勢ノ黒部陸前ノ渡波筑前ノ津屋崎豐後ノ高田肥後ノ腹赤地方ハ四五萬石ヲ産セリ製鹽方法ハ鹽田製鹽ノ外ニ海水ヲ直煮セルモノアリ枝條架ヲ用ヒテ採鹹スルモノアリ稀ニ鹽土ヨリ採鹹スルモノアリ鹹泉ヨリ製鹽スルモノアリ其ノ他沃度製造ノ副産トシテ採鹽スルアリ又或ハ鹽ヲ溶解シテ更ニ製造スルアリ而シテ其